

デートDV（ドメスティック・バイオレンス）

今回のハートフルデーは、高校生のためのDV未然防止講座について紹介します。

5月28日木曜日に愛媛県県民環境部管理局男女参画・県民協議課から人権擁護委員の稲見和子先生を講師としてお迎えし「デートDV出前講座」を実施していただくことになりました。

<内容>

- 1 デートDVの種類や問題点についての説明。
- 2 デートDVに関するDVDの視聴。
- 3 デートDVの当事者にならないための心構え（対処方法）を考える。

この講座を通して、人と人とのよりよい関係を築くための基本を身につけ、将来、男女を問わず「人と人とのよりよい関係」を築けるように心掛けましょう。



デートDVを知っていますか？

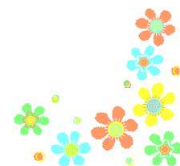


デートDVは、「交際相手からの暴力」をいいます。昨年度実施したデートDVに関するアンケートの結果によると、北条高校生の7.6%がデートDVを受けた経験があると回答しています。

デートDVについて、「交際相手が好きだから」や「自分にも悪いところがある」、「自分さえ我慢すればよい」などとDVを容認している生徒がいるようです。小さな束縛が、やがて暴力やストーカー行為につながる恐れがあります。被害を未然に防ぐためにも正しい知識をもって対等な関係を築くことが大切です。

<北条高校生が経験したデートDVの例>

- ・「バカ」「デブ」「ブス」など、バカにしたようなことを言われた
- ・他の用事で会えないと、恋人がふてくされたり、怒ったりした
- ・友達と仲良くしていると責められた
- ・電話に出なかったり、メールをすぐに返信しないと怒られた
- ・相手の機嫌を損ねることを恐れ、相手の要求を受け入れた
- ・殴られたり、蹴られたり、髪の毛を引っ張られたりした
- ・携帯電話のメールや通信履歴などをチェックされた
- ・キスや性行為を強制された





DVかな?と思ったら



ひとりで悩まないで、保護者や先生に相談したり、相談機関（女性センター、福祉事務所、警察署など）に連絡してください。我慢してひとりで抱え込んでいると、暴力は次第にエスカレートする傾向があります。

また、あぶない状況にあるのではないかと心配される人がいたら、相談に行くように伝えてください。なかなか勇気が出せないようであれば、一緒に行ってあげると心強いかもしれません。DVの被害者のなかには、悪いのは相手ではなく自分のせいだと感じてしまったり、自分がDVの被害にあっているということを自覚できず、DVから抜け出せないでいるケースも多いようです。



DVを防ぐためには



1 絶対に暴力を振るわない

どんな事情があったとしても、暴力を振るっていいという理由にはなりません。暴力は、絶対に許されるものではないことを認識しましょう。暴力を使わずに問題を解決できる方法を見つけましょう。

2 自分の気持ちを大切にす

自分の気持ちを大切にす、自分が嫌なことは、相手に対してはっきり「NO!」と言いましよう。もちろん自分ばかりではなく、相手の「NO」も受け入れることが必要です。

3 相手を尊重する

相手の話に耳を傾け、相手の気持ちを思いやりましよう。自分の気持ちや考えを相手に押しつけないで、自分とは違う相手の気持ちや考えを認め、受け入れましよう。

担当：3年1組、3年2組

次回の放送は、6月17日です。お楽しみに...

お願い

今日の放送を聞いて生徒の皆さんの感想や、この資料をご家庭に持ち帰ってご家族の方と話し合ったこと、ご感想などをお寄せください。

提出は、ホームルーム担任まで

切り取り線

第1回ハートフルデー

()年次 生徒 or 保護者

Large empty box with dashed lines for writing responses.